

志木小学校だより

令和元年度10月号



学校地域教育目標

明るくあいさつのできる子

思いやりのある子

地域を大切にする子

意欲的に学ぶ子

10/1児童数 750名

ニコニコ笑顔 キビキビ行動 ハキハキあいさつ・返事
より良い人間関係を築くには！

校長 坂口 栄二



正門前のゼフィランサス

楽しかった運動会！

9月21日（土）に運動会を開催しました。その週の天候は不安定で当日も雨の予報が出ていましたが、朝早く小雨の降る中、志木小おやじの会の皆様が、たくさんのテントを張ってくださいました。また、PTAの皆様にも準備や会場整理などにお手伝いいただきました。お陰様で、雨天用のプログラムに変更しましたが、無事に実施することができました。子供たちは、ニコニコしながらキビキビ動き、ハキハキと元気に演技・応援をしていましたので、子供たちの成長が感じられた感動のある運動会になりました。体調管理やお弁当作りなどにご協力いただいたことに感謝申し上げます。



子供たちの演技を見ていて感じたことは！

子供たちはどのプログラムでも一生懸命演技・応援をしていました。そんな子供たちを見ていて「子供たち同士の絆がとても深まっているな」と感じました。それは、運動会前から、自分たちで話し合い、作戦を決めている姿やお互いに教え合いながら練習をしていた姿などをたくさん見ていたからかもしれません。運動会当日そんな練習風景を思い出しながら、練習がスタートした時からずいぶん絆が深まったなと感じました。この深まった絆をさらに深め、充実した楽しい学校生活を送ってほしいと思います。



絆をさらに深めるには？

絆をさらに深めるには、より良い人間関係を築くことが必要です。この運動会で絆が深まったのは、同じ目標に向かって、話し合ったり教え合ったり応援し合ったりしながらいっしょに行動したからだだと思います。そうすることで、お互いを理解し合いながら、人間関係を深められたのだと思います。

さらにより良い人間関係を築くには？

現在、社会的にいじめやあおり運転、不審者などの事件がたくさん起こっています。そんなことをしている人は、捕まった時に決まって自分勝手な理由を言っています。どんな言い訳をしても、相手を傷つけることは許されません。もちろん、そんな人と進んで関係を持ちたいと思う人は少ないと思います。相手の気持ちを考えず、自分勝手な言い訳をしては、きっと良い人間関係を築くことはできないでしょう。



善因善果（ぜんいんぜんか）悪因悪果（あくいんあつか）！

この言葉は仏教の教えです。意味は、善い行いをすれば善いことが起こり、悪い行いをすれば悪いことが起こるということです。人間関係づくりにおいても、「相手が気持ちよくなる良い行いをすれば、良い人間関係を築くことができる」と考えることができます。

子供達には、たくさんの行事や学習を通して、相手の気持ちを考えられる力を身に付けてもらいます。そして、より良い人間関係づくりができるようにこれからも教育活動に取り組んでまいります。変わらぬご支援・ご協力をお願いいたします。